

1.「漁村計画」とは

(1)「漁村計画」の概要

(参考図書p1～)

(漁村計画とは)

- ・ 総合的に地域の振興を図る視点で“**漁村の目指す将来像・姿**”を**具体的にイメージした目標を定める**。
- ・ **どのような施設の整備が必要**であるかを**体系的に整理**する。

(計画策定の狙い)

- ・ 様々な問題に対して個別に解決策を検討するのではなく、**個々の施設の計画や整備に一貫性を持たせる**ことで、**より効果的・効率的に地域振興**を図る。

(主な検討の視点)

- ①**水産業振興** : 養殖・蓄養、水産物の付加価値化、漁港施設の機能再編 等
- ②**生活環境整備** : 集落道や漁集排施設の整備・再編、低未利用地の再編 等
- ③**大規模災害対策** : 避難施設や防災施設の整備、事前復興計画の策定 等
- ④**海業振興** : 受入施設の整備、漁港施設の活用、他産業との連携 等

(作成する資料の構成)

- ・ 漁村構想：**概ね20年前後**を想定したハード・ソフトに関する**漁村の将来構想**
- ・ 漁村基本計画：**概ね10年前後**を想定したハードの**全体像等を明らかにした基本計画**

(作成方針)

地域に関わる**様々な立場の関係者の意見**や、漁村の整備に係る**自治体の上位計画**の内容を踏まえ行う。

漁村の様々な問題

漁獲量が減ってきている...

道路が狭くて車が通れず不便...

津波や台風の被害が心配...

観光客を呼び込みたい...



”漁村の目指す将来像・姿”の実現に必要な施設の検討

漁村計画

- 総合的な地域振興を図るために必要な施設整備を体系的に整理したもの。
- 自治体職員を中心に、住民参加の下で合意形成を図りつつ作成する。

①漁村構想（長期的な漁村の将来像）

水産業振興、生活環境整備、大規模災害対策、海業振興等の視点から検討した、長期的な”漁村の目指す将来像”。

②漁村基本計画（中期的なハード整備の全体像等）

中期的な視点で優先度の高いハード整備を抽出し、施設の規模や配置等の具体的な計画を整理した、ハード整備の全体像。



「漁村計画」に基づく個別施設の事業計画の検討・整備の実施

- 地域の目標と整合した施設整備の実施
- 様々な施設が一体的に機能

効果的・効率的な地域振興に寄与

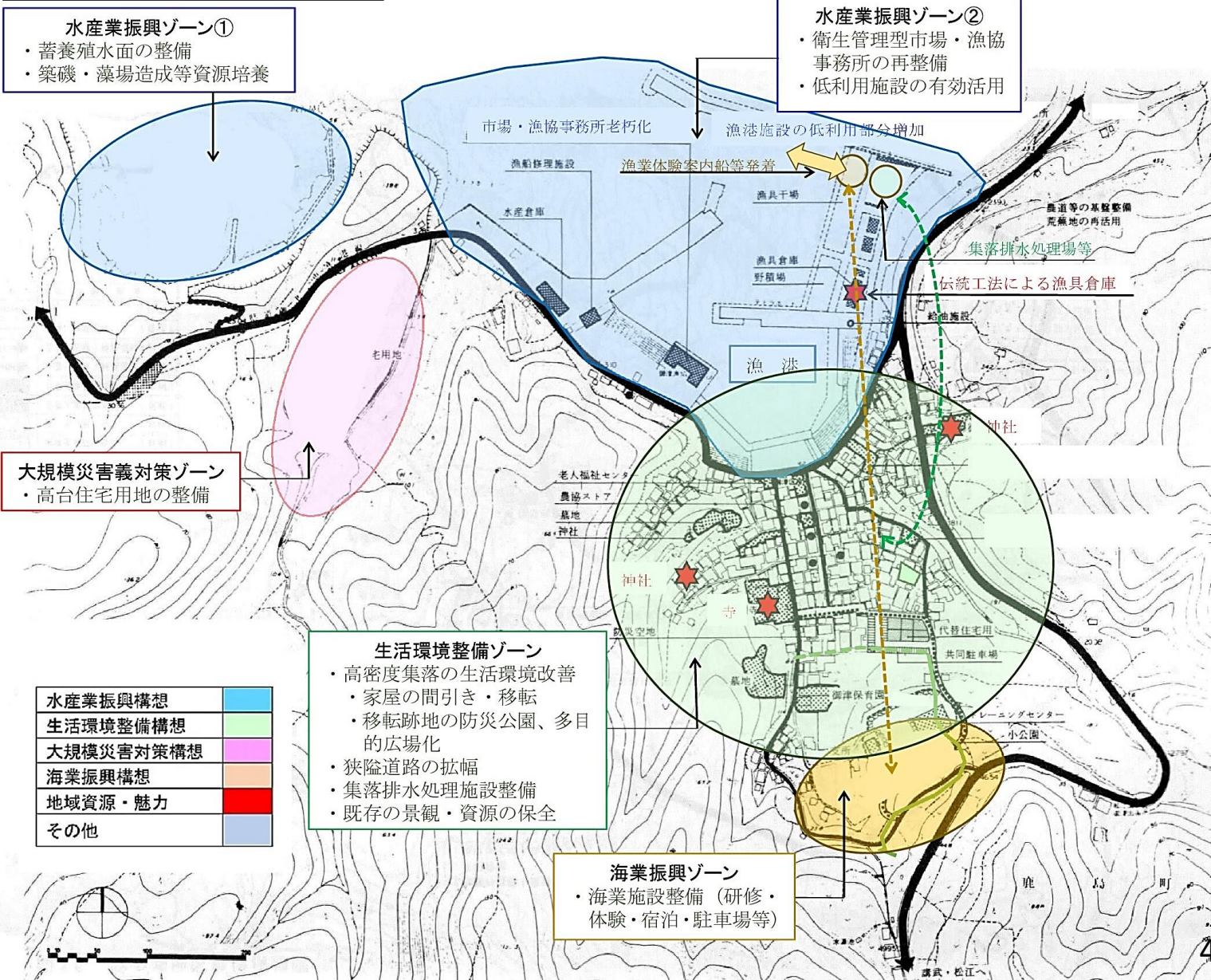
(2)「漁村構想」の概要

(参考図書p19～)

- 「漁村構想」は、**長期的（20年程度）な“漁村の目指す将来像”**です。
- 地域において**施設整備を計画・実施**する際に、**地域の振興のテーマとの整合性**や、**目標達成に向けた計画の一貫性**を確認する基本となります。
- 対象とする地域の現状や問題点・課題を踏まえ、**①水産業振興、②生活環境整備、③大規模災害対策、④海業振興**の4つを主な検討の視点として、“漁村の目指す将来像”と、その実現に必要な**ソフト対策を含めたハード整備の方針**や、将来像を象徴する**テーマ、目標**を検討します。
- 検討した内容について、実施位置が分かるように地図上に記載し、“漁村の目指す将来像”を空間的に把握できる**「漁村構想図」**を作成します。

項目	内容
1. 地域の概況	・地域の立地、人口、水産業依存度等の概況 ...地域の基礎的な情報を整理する。
2. 構想の地域（範囲）	・範囲の説明 ...構想の範囲を図等で説明する。
3. 現況・課題等	・4つの視点別の問題点・課題 ...地域の抱えている課題や、解決したい課題について、住民の意向等を踏まえ整理する。
4. 構想	・漁村振興のテーマ、目標 ...漁村振興の方向性を端的に示したテーマと、定量的な目標を設定する。 ・4つの視点別の構想（方針） ...テーマ、目標の実現に向けた長期的な施設整備方針を整理する。
5. 構想実現に向けての留意点	・上位計画や関連既往計画との調整等に関する事項 ...整備に係る他の計画や、調整が必要な事項を整理する。

■漁村構想図の例



(4)基本的な計画策定の手順

- 基本的な計画策定の手順は、下図のように **3つのステップ**に分けられます。
- 計画づくり体制の一部の参画者が具体的な調査や検討を担当する場合でも、適宜、**参画者全員と情報の共有や協議をする場**を持ち、**策定を進める**ようにしましょう。



「2. 効果的な調査・検討方法」にて解説

「3. 「漁村計画」のとりまとめ方法」にて解説